



③ 自習系

3.1 図書館の国際資料

琉球大学附属図書館には、外国語を学習している学生にとっても良い資料がたくさんあります。本館2階の左奥にある「グローバル・コモンズ津梁（国際資料室）」には「世界の国・地域に関する資料」があり、「語学書コーナー」には外国語学習のための資料と「世界の教科書シリーズ」を備えています。「外国の教養雑誌、新聞」のコーナーには、英語、ドイツ語の教養雑誌と、英語、中国語、韓国語の新聞があります。そして、「英語多読コーナー」には各レベルに適応した英語の読み物が揃っています。また、3階の「閲覧室図書（和・洋）」の外国文学の本棚にいくつかの作品が揃っています。外国語の読解を練習しながら、クラシックな小説を読む機会になります。| ※学生証を使い、図書館に行き、できるものを貸出し、外国語での読書を挑戦しましょう！

3.2 e-learningシステム「アルクネットアカデミーネクスト」

琉球大学アルクネットアカデミーネクストとは、インターネットブラウザ上で、資格試験のTOEIC対策、語彙力や英作文、幅広く英語を自習できるe-learningシステムです。外国語が勉強できるのは、パソコンのもう一つの便利な点だと言えましょう！ | 詳しい受講方法は「[琉球大学ネットアカデミー特設サイト](#)」を確認しましょう。

④ 留学系

【※前置き】 実体験を通じて他言語と文化を深く学びたい学生には、留学が非常に大事な機会となります。一方、事前の準備（語学力証明書を含めて申請書類の用意など）、現地での勉強や生活、修了後の復帰に注意を払わなければなりません。調べ、相談し、勉強してから留学を決めましょう。そして自分の知っている世界を広げていきましょう！

4.1 短期交換留学（派遣）制度

「[短期交換留学（派遣）制度](#)」とは、琉球大学に在学したまま外国の協定校へ1学期以上1年以下の間留学するプログラムです。琉球大学は30か国・地域を超える、100以上の大学と学生交流協定を締結しているほか、ISEP、UMAPというシステムにも加盟しており、留学先の選択肢は多くあります。毎年度、2回の募集期間（6月頃と10月頃）があり、それぞれの派遣時期も異なります。琉球大学への授業料を納入することで、派遣先大学の授業料が免除されること、語学留学とは異なり、自分の専門分野を海外の大学で学べる（単位互換の手続きあり）ことが本制度の魅力です。





4.2 海外文化研修

「海外文化研修」とは、共通教育等科目総合科目として実施される短期留学プログラムです。英語、中国語、フランス語、スペイン語、ドイツ語の5つの言語圏で実施されます。海外で2～4週間程度の集中講義を受講し、研修を修了することで単位が認定されることもあります。長期間1人で留学する前に、関心のある文化や言語を安心して体験できる機会です！ | ※実施されるプログラムについては「[琉球大学海外文化研修特設サイト](#)」を確認しましょう。

4.2 その他

上記の留学プログラムの他にも、琉大生なら次のプログラムに、学生部国際教育課を通じて学内で応募することができます。[バレンシア国際カレッジプログラム](#)（留学及びWalt Disney Worldでの海外インターンシップ）、[トビタテ！留学JAPAN新・日本代表プログラム](#)（官民協働海外留学支援制度）、[沖縄からアジアへトビタテ！海外研修事業](#)（県内企業インターンシップ及び海外研修）など。 | ※各プログラムの条件、そして自分の履修計画への影響をしっかりと調べてから応募しましょう。

これまで紹介したように、琉球大学の大学生なら、外国語を学習するには本当に多くの方法と勉強の機会があります。これから、皆さんも情報を得て機会を活かし、楽しい時には楽しく、困難な時には逞しく頑張りながら、自分の目標を達成していきましょう！

※ 本コラムの目的は、琉大生が利用できる外国語学習方法に関する情報を整理することです。そのために、琉球大学の教務情報、国際地域創造学部、国際教育センター・外国語ユニット、附属図書館、学生部国際教育課の各公式ホームページを参照しました（2024年1月5日現在）。ただし、ここに掲載されている情報は、あくまでも紹介のためなものです。それぞれの学習方法について詳しく知りたい場合は、本コラムにはられているリンク（文中で下線されている言葉）を通じて、又はご自身で検索して、各担当課にお問い合わせください。

（地域共創研究科M2 文学系TA）

